

VM0808

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、VM0808 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2012年11月20日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- 本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般	4
ラックマウント	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
第1章 はじめに.....	10
概要	10
特長	11
システム要件.....	12
ソースデバイス.....	12
ディスプレイデバイス.....	12
ケーブル	12
ソースデバイスの対応 OS	13
製品各部名称	14
フロントパネル	14
リアパネル.....	15
IR リモコン	16
第2章 セットアップ方法.....	17
ラックへの取り付け.....	17
ケーブルの接続.....	19
接続図	19
第3章 操作方法.....	20
概要.....	20
フロントパネル操作	20

基本ナビゲーション	20
メニュー構成	21
パスワードの入力	22
メイン画面.....	23
オーディオ入力の個別選択.....	24
シリアルポートの設定	25
操作モード.....	27
セキュリティモード.....	29
設定値の保存/呼び出し.....	31
設定値の選択	32
リモコン操作.....	35
出力ポートに対する入力ソースの変更.....	35
出力ディスプレイの個別電源 ON/OFF	36
出力ディスプレイ全ての電源 ON/OFF.....	36
第4章 RS-232 コマンド	37
シリアルコントロールプロトコルコマンド	37
シリアルポートの設定	37
ポート切替コマンド	37
EDID コマンド.....	40
ミュートコマンド	42
設定値の保存/呼び出しコマンド.....	43
付録.....	45
製品仕様.....	45

FCC

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。

●: 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために3ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は15アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

VM0808 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

◆ VM0808 8 入力 8 出力カテゴリ 5 タイプ A/V マトリックススイッチ	×1
◆ 電源コード	×1
◆ IR リモコン	×1
◆ IR レシーバー	×1
◆ ラックマウントキット	×1
◆ クイックスタートガイド	×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VM0808 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: VM0808 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ: VM0808 のハードウェアセットアップの手順について説明します。

第3章 基本操作: VM0808 の機能概要およびフロントパネルの LCD ディスプレイや IR リモコンを使用した操作方法について説明します。

第4章 RS-232 プロトコルコマンド: 追加のソースデバイスがトランスミッターやレシーバーとして機能できるように、RS-232 シリアルポートを使用した際のシリアル操作プロトコルコマンドの表を記載しています。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

ATEN VanCryst VM0808 8 入力 8 出力カテゴリ 5 タイプ A/V マトリックススイッチは、8 台の VGA ソースデバイスを 8 台の VGA モニターやプロジェクターへ同時に接続することができます。また、VM0808 には、ソースデバイスとディスプレイ間の素早い切替、IR リモコンによる切替、フレキシブルなマトリックス接続、表示損失を自動的に防止する電源探知機能、ハイエンドコントローラー用の RS-232 ポート、オーディオの個別マトリックス切替対応といった、非常にユニークな機能があります。

VM0808 は、8 台のオーディオ/ビデオソースを 8 台のオーディオ/ディスプレイに、簡単で便利に、マトリックス状に組み合わせて、任意に出力させることができます。

マトリックススイッチとして、それぞれのソースデバイスからの入力信号は、任意または全てのオーディオ/ディスプレイに接続することができ、また各ソースデバイスからのオーディオ入力信号も個別に切り替えることができるので、マルチディスプレイオーディオ/ビデオがどのように設置されていても、設置機器を非常に柔軟に操作することができます。

さらに、システム統合の完全性を高めるために、VM0808 に搭載された RS-232 ポートを使って、ハイエンドコントローラーや PC から本製品を操作することもできます。

特長

- ◆ 8 系統のオーディオ・ビデオ信号を 8 系統にマトリックス分配切替
- ◆ 長距離延長 - 最大 30m の延長に対応
- ◆ 複数のソースを複数のモニターに簡単切替
- ◆ 操作方法
 - フロントパネルの LCD ディスプレイおよびプッシュボタン
 - プッシュボタン付チューナーダイヤル
 - RS-232 シリアルコントローラー
 - IR リモコン
- ◆ 解像度 - 最大 1,920×1,440;VGA、SVGA、SXGA、UXGA および WUXGA(1,920×1,200)
- ◆ 異なる EDID モードを通じて、ビデオ設定の個別設定を可能にする EDID エキスパート技術搭載
- ◆ 対応バンド幅 - 最大 500MHz
- ◆ ステレオオーディオ対応
- ◆ オーディオ、ビデオの各ソースは個別切替に対応 - 各ソースは個別に任意の出力に組み合わせで接続可能
- ◆ 電源探知機能 - あるビデオソースに電源が入っていない場合、VM0808 は自動的にそれを検知し、次の電源の入っているソースに切替
- ◆ VM0808 を追加して最大 3 段階までのカスケード接続に対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ フルメタルケース

システム要件

VM0808 のセットアップには、以下のデバイスが必要です。

ソースデバイス

- ◆ VGA およびステレオオーディオ出力が可能なコンピューターまたは A/V ソースデバイス

ディスプレイデバイス

- ◆ D-sub15 ピンコネクタを搭載し、VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、WUXGA の解像度に対応したマルチスキャンモニター
- ◆ ステレオ対応スピーカー

ケーブル

- ◆ コンピューター(またはその他オーディオ/ビデオソースデバイス)を VM0808 に接続するには、VGA/オーディオ/RS-232 ケーブルを使用してください。

注意: ケーブルは VM0808 製品パッケージに同梱されておりません。

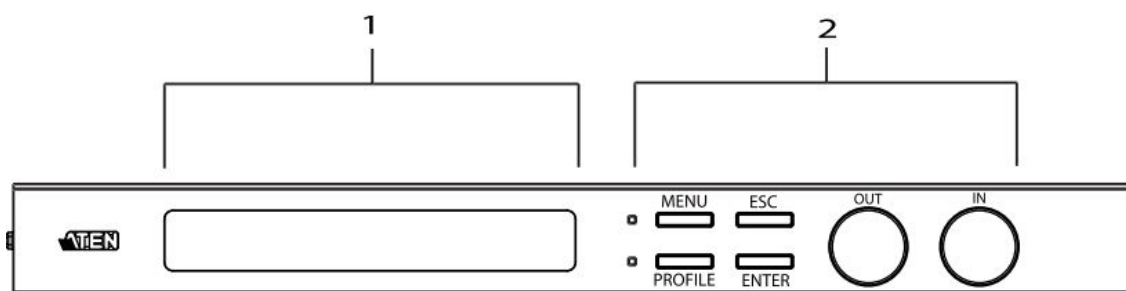
ソースデバイスの対応 OS

対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	3.51 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.2 以降

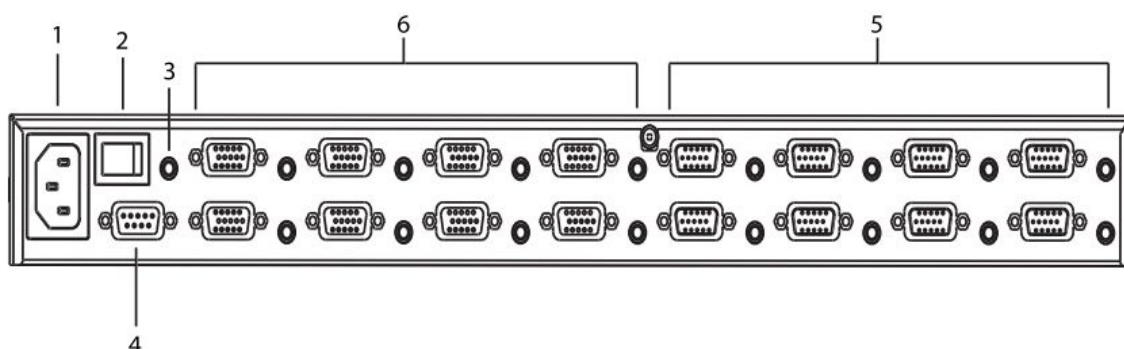
製品各部名称

フロントパネル



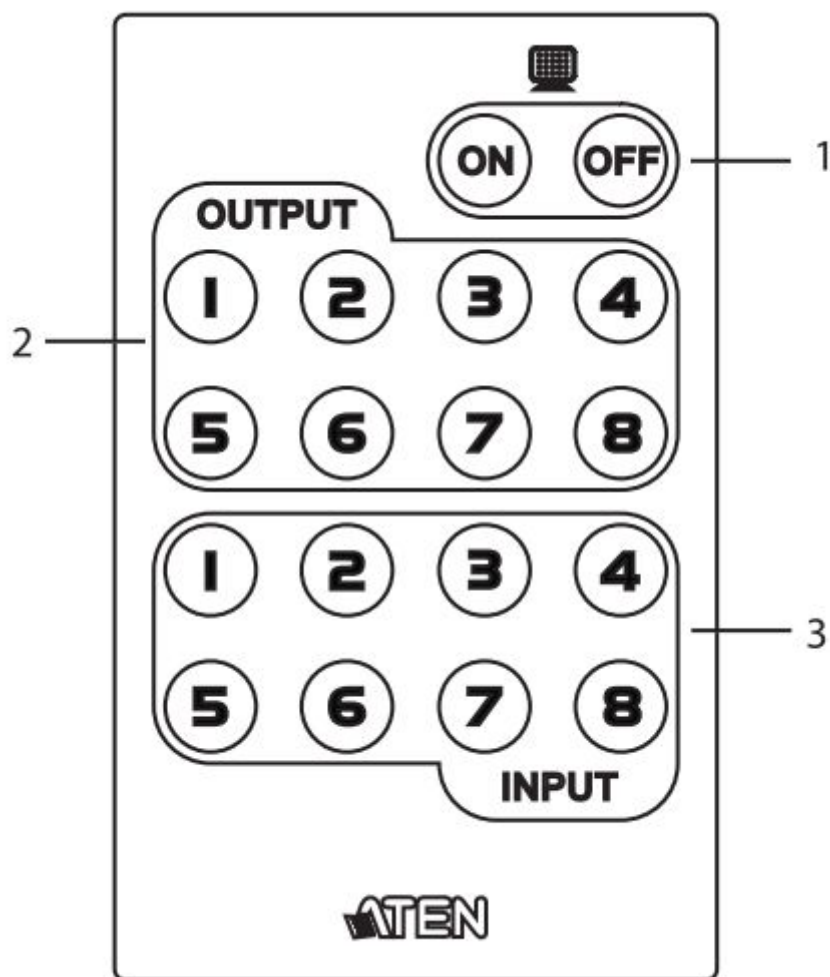
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイにはVM0808 の設定や操作に関する様々なオプションが表示されます。詳細は p.20「フロントパネル操作」を参照してください。
2	フロントパネルプッシュボタン および チューナーダイヤル	<p>VM0808 の設定や操作をする際には、これらのボタンを使って LCD ディスプレイを操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ MENU - このボタンを押すと、メニュー画面/メイン画面が起動します。 ◆ PROFILE - このボタンを押すと、ビデオソースの設定値選択リスト間を切り替えます。 ◆ ESC - 現在選択しているものをキャンセルする、または変更を保存することなく終了します。 ◆ ENTER - 現在選択しているものを確定します。 ◆ チューナーダイヤル - LCD ディスプレイ上の選択したオプションを上下左右、またはスクロール操作するには IN および OUT チューナーダイヤルを使用してください。 <p>詳細は、p.20 「フロントパネル操作」を参照してください。</p> <p>注意:MENUとPROFILEフロントパネルプッシュボタンにはLEDランプが内蔵されていて、点灯している場合はそれが選択されていることを表します。</p>

リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	本製品の電源を入れたり、切ったりするための標準的なロックスイッチです。
3	外付 IR レシーバーポート	本製品に同梱されている IR レシーバーを接続するための 3.5mm ミニステレオジャックタイプのポートです。
4	RS-232 シリアルポート	このシリアルリモートポートは入力ソースデバイスの選択およびハイエンドシステムコントロールに使用します。
5	オーディオ/ビデオ入力ポート	入力ソースを接続するための VGA ポートと、オーディオソースを接続するためのミニステレオジャックポートです。
6	オーディオ/ビデオ出力ポート	出力ディスプレイを接続するための VGA ポートと、オーディオスピーカーを接続するためのミニステレオジャックポートです。

IRリモコン



No.	名称	説明
1	電源 ON/OFF	ON/OFF プッシュボタンを使用して、個別のポートまたは全てのポートに接続された出力ディスプレイの電源 ON または OFF ができます(p.35 「リモコン操作」参照)。
2	出力ボタン 1~8	出力ディスプレイボタン1~8は、入力ソースを変更したい出力ディスプレイポート番号を表します(p.35 「リモコン操作」参照)。
3	入力ボタン 1~8	入力ソースプッシュボタン1~8は、出力ディスプレイへの入力ソースを変更します(p.35 「リモコン操作」参照)。

第2章 セットアップ方法

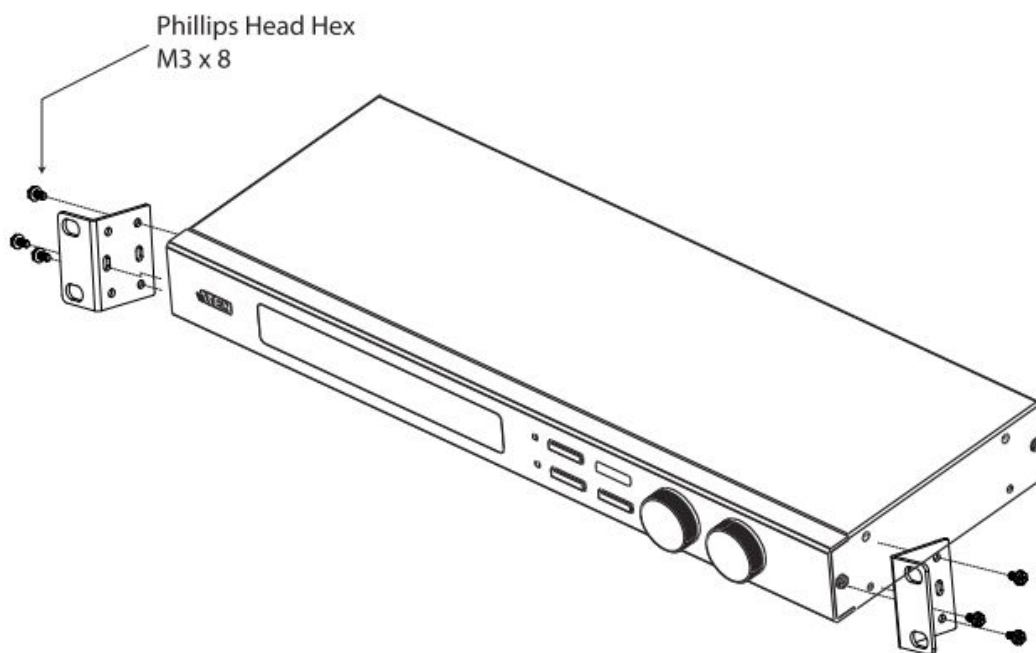


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.4 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

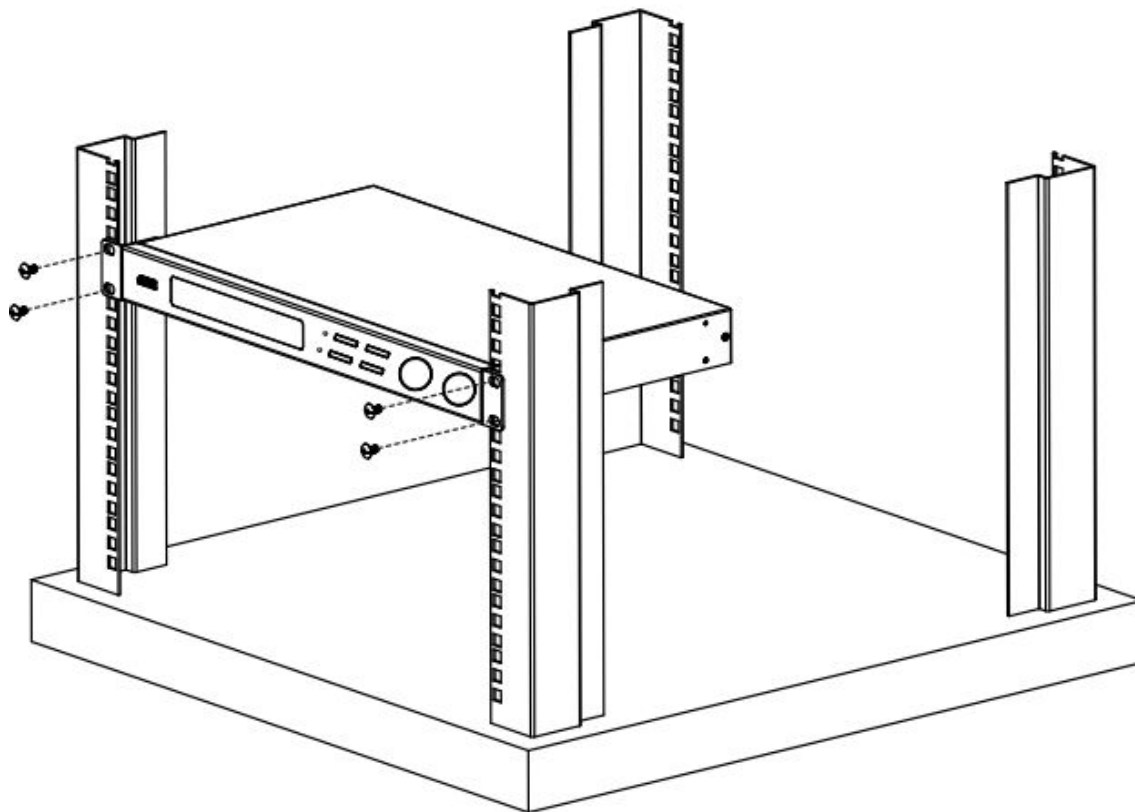
ラックへの取り付け

VM0808 は 19 インチ (1U) サイズのシステムラックに取り付けることができます。ローカル側でフロントパネルのプッシュボタンを使用して設定や操作を行いやすくするために、下記の手順で本製品をラックのフロント側に取り付けてください。

1. ラックマウントキットに同梱されている **M3 プラスネジ 8mm** を使用してラックマウントブラケットを本製品のフロントパネルにネジ止めしてください。



2. ラックのフロント側に本製品を固定し、ラックのネジ穴とマウント用ブラケットの穴を合わせてください。
3. マウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。

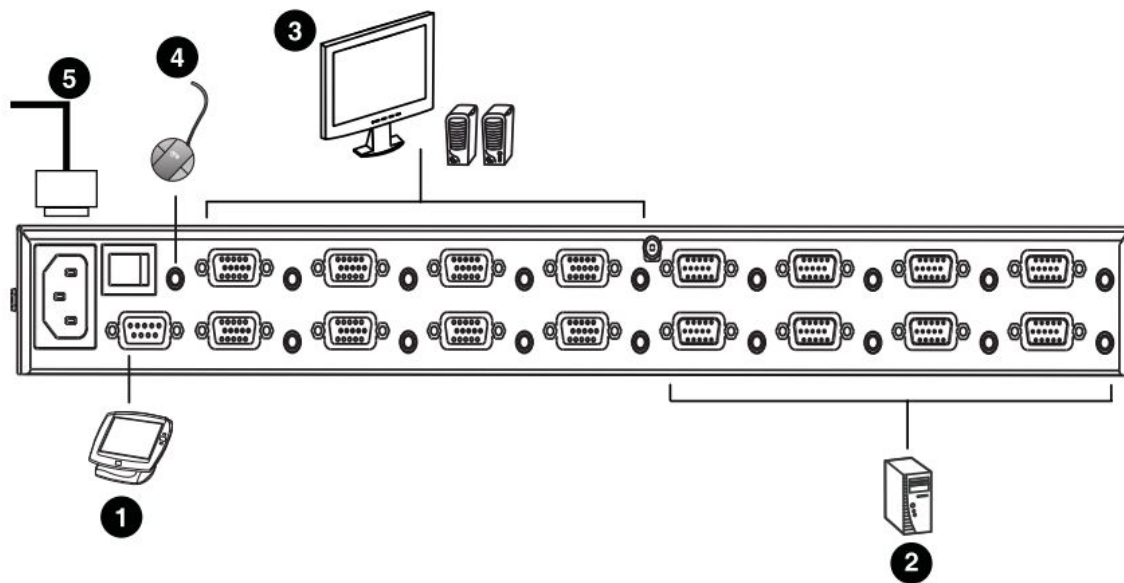


ケーブルの接続

VM0808 のセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。以下の接続図(図にある番号は、下記の手順番号に対応)を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

1. シリアルコントロール機能を使用する場合は、適切なRS-232 シリアルケーブルを使用して、コンピューターまたはシリアルコントローラーと VM0808 の RS-232 シリアルメスポートを接続してください。
2. 8 台までのビデオ/オーディオソースデバイスを本製品の VGA/オーディオ入力ポートに接続してください。
3. 8 台までのディスプレイ/オーディオデバイスを本製品の VGA/オーディオ出力ポートに接続してください。
4. IR レシーバーを本製品の外付 IR レシーバー入力ポートに接続してください。
5. 同梱の電源コードを VM0808 の 3 極 AC ソケットに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
6. VM0808 および接続機器全てに電源を入れてください。

接続図



第3章 操作方法

概要

VM0808 は、フロントパネルのプッシュボタンおよびチューナーダイヤル、IRリモコンや RS-232 シリアルコントローラーから、設定や操作を行うことができます。

フロントパネル操作

VM0808 には設定や操作が便利にできるように、プッシュボタン、チューナーダイヤルおよび LCD ディスプレイがフロントパネルに搭載されています。これを使用して、ソースデバイスとディスプレイの組み合わせの選択、オーディオの個別選択、シリアルポートの設定、電源探知機能と EDID モードの調整、セキュリティ情報の設定、設定値の呼び出し/保存、および設定値選択リストの設定というような操作ができます。

基本ナビゲーション

VM0808 のフロントパネルディスプレイ操作はわかりやすく、とても便利です。下記のフロントパネルプッシュボタンとダイヤルの操作方法に注意してください。

- ◆ メニュー画面のオプションにアクセスするには「MENU」ボタンを使用してください。メニュー画面には、「Switch Audio Only」、「Set Serial Port」、「Operation Mode」、「Security Mode」、「Save/Load Profile」、「Profile Selection」といったオプションがあります。
- ◆ 接続設定値間を切り替えるには、メインメニューで「PROFILE」ボタンを使用して、設定値選択をしてください。
- ◆ 前のレベルやメイン画面に戻ったり、終了したりするには「ESC」ボタンを使用してください。
- ◆ オプションを選択し、操作方法を確定させるには「ENTER」ボタンまたはチューナーダイヤルプッシュボタンを使用してください。
- ◆ メニューまたはオプションを前または後に循環させるにはチューナーIN/OUT ダイヤルを使用してください。

メニュー構成

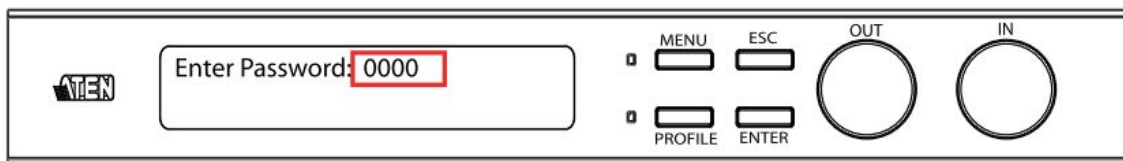
メイン画面とメニュー画面間を切り替えるには「MENU」ボタンを使用してください。メイン画面から「MENU」押しボタンを押すと、メニューページにアクセスします。下表に示した「Switch Audio Only」(オーディオのみ切替)から始まるメニューオプションを循環させるには、チューナーダイヤルを使用してください。

メニューページ	サブメニューページ	
Password		
Main Page (メイン画面)	Select Video IN (ビデオ入力 の選択)	1～8 または N/A
	Profile (設定値)	「PROFILE」ボタンを押すと、設定値 選択リストに追加された設定値を循 環します。
Switch Audio Only (オーディオのみ切替)	Select Audio IN (入力オーディ オの選択)	1～8 または N/A
Set Serial Port (シリアルポートの設定)	Default Serial Setting (デフォ ルトシリアル設定)	Yes / No
	Baud Rate (ボーレート)	9600 / 19200 / 38400 / 115200
Operation Mode (操作モード)	Power On Detection (電源探 知機能)	OFF / ON
	EDID	Auto / Default / Port1 / Remix
Security Mode (セキュリティモード)	Password Required (パスワー ドが必要)	Yes / No
	Change Password (パスワード 変更)	Old Password New Password (旧パスワード) (新パスワード)
Save / Load Profile (設定値の保存/呼び 出し)	Save to a Profile No. (設定値 No. に保存)	0～31
	Call a Saved Profile No. (保存 した設定値 No.を呼び出し)	
Profile Selection (設定値の選択)	Show Profile Selection (選択し た設定値を表示)	設定値の選択画面に設定値を一覧 表示。
	Add a Profile in Selection (設 定値をリストに追加)	設定値 No.0～31 に追加
	Delete a Profile from Selection (設定値をリストから削除)	設定値 No.を削除

パスワードの入力

VM0808 の操作にパスワード入力が必要であると設定されている場合(詳細は p.29 「セキュリティモード」参照)、本製品にアクセスすると、パスワード画面が表示され、最初の数字の所でカーソルが点滅します。4桁のパスワードを入力してメイン画面へ続けてください。

注意: VM0808 に初めてアクセスする場合、デフォルトのパスワードは 1234 です。



パスワードを入力するには以下の方法に従って操作してください。

1. フロントパネルの OUT ダイアルを左または右に回してカーソルを動かしてください。
2. フロントパネルの IN ダイアルを左または右に回して番号を循環させてください。
3. パスワードが確定したら OUT ダイアル、IN ダイアル、または「ENTER」ボタンを押して離し、メイン画面へと続けてください。

-
- 注意:**
1. 間違ったパスワードを入力してしまった場合は、間違った文字列の上に正しいパスワードを再度入力してください。
 2. パスワードの入力を有効にしている場合 (p.29 「パスワードの設定」参照)、タイムアウトは 5 分間となっています。
-

メイン画面

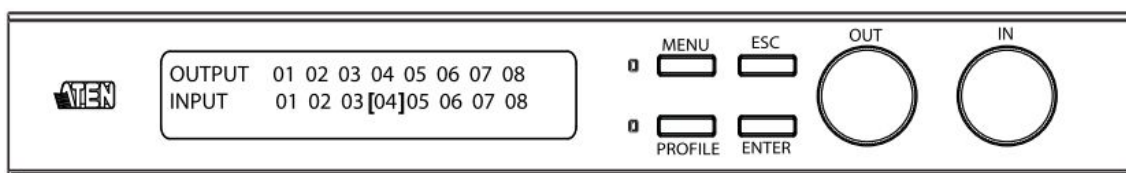
メイン画面は出力ポート 1～8 を最初から順番に表示します。各出力ポートにどのソースが表示されているかは、真下の行に表示されます。メイン画面からは、入力/出力の接続方法を設定し、選択した入力ポートからの信号を任意の出力ポートへ送信することができます。また、各出力ディスプレイに対応する入力ソースを変更するだけでも信号を任意の出力ポートに送信することができます。オーディオボタンを押して個別のオーディオセットアップページを直接選択することもできます。

メイン画面から、「PROFILE」ボタンを押すと、設定値選択リストで設定した設定値を循環することができます。「MENU」ボタンを押すと、メニューページのオプションにアクセスできます。「ESC」または「MENU」ボタンを押すと、いつでもメイン画面に戻ることができます。

ビデオ入力の選択

各出力ポートにどの入力ソースを表示させるか選択するには、メイン画面から下記の手順で操作を行ってください。

1. OUT ダイアルを回して、出力ポートに対応する入力ポートを選択してください。



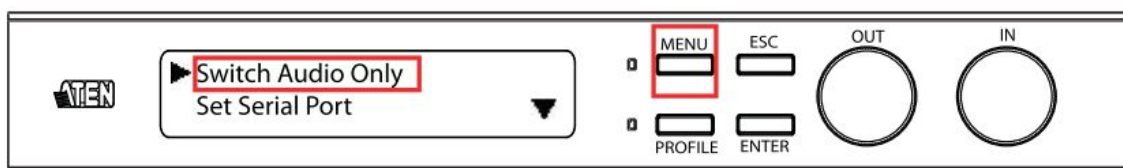
2. 選択した入力ポートにカーソルが点滅したら、IN ダイアルを使用して利用可能な入力ソースを循環させてください。
オプションはポート 1～8、NA(無)となっています。
3. 選択したものは OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して確定してください。
選択した入力ポートからの VGA 各信号は上記で選択した出力ポートにつながるようになります。
4. 必要なポート全てに手順 1～3 を繰り返してください。

注意: この操作は選択した入力ポートから選択した出力ポートへと 2 種類の信号(オーディオ、ビデオ)をつなげるようにします。オーディオ信号の個別切替方法については p.24 「オーディオ入力の個別選択」を参照してください。

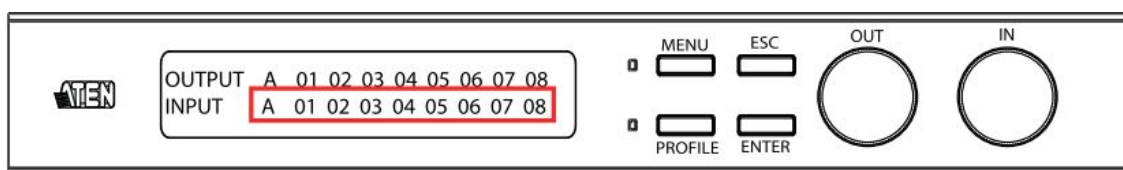
オーディオ入力の個別選択

オーディオ信号は、同じ入力ポートからのビデオ信号とは別に「Switch Audio Only」(オーディオのみ切替)メニューを使用して切り替えることができます。オーディオ入力を個別に選択するには、メイン画面から下記の手順で操作を行ってください。

1. 「MENU」プッシュボタンを押して、メニュー画面にアクセスし、「Switch Audio Only」(オーディオのみ切替)を選択して「ENTER」ボタンを押してください。



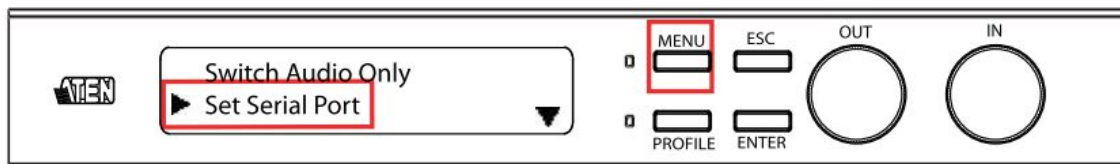
2. OUT チューナーダイヤルを使用して、変更したい出力ポートのオーディオに対応する入力ポートを選択してください。



3. 選択した入力ポートのカーソルが点滅したら、上記の出力ポートに関連する利用可能なオーディオ入力ソースを IN チューナーダイヤルで循環させてください。
オプションはポート 1~8、NA(無)です。
4. オーディオのみを切り替えるポートを選択したら OUT ダイヤル、IN ダイヤル、または「ENTER」ボタンを押して選択を確定してください。
5. 「ESC」ボタンを押してメイン画面に戻ってください。

シリアルポートの設定

VM0808 のシリアルポートを設定する場合は、メイン画面から「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にアクセスしてから、「Set Serial Port」を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。

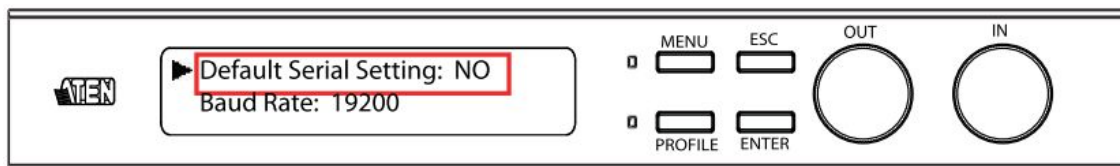


サブメニューには下記のように「Default Serial Setting」（デフォルトシリアル設定）と「Baud Rate」（ボーレート）の 2 つのオプションがあります。

Default Serial Setting (デフォルトシリアル設定)

デフォルトシリアル設定を使用する場合、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「Default Serial Settings」に矢印を合わせてから OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して、サブメニューのオプションにアクセスしてください。「Default Serial Settings」のオプション部分が点滅します。



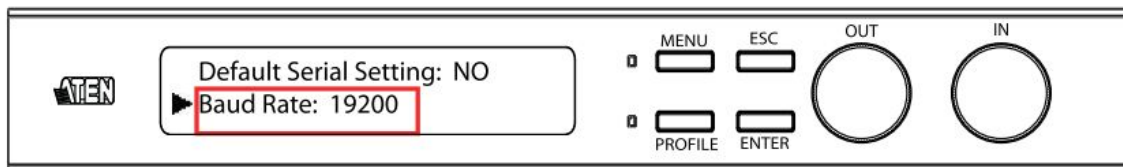
2. フロントパネルの IN ダイアルまたは OUT ダイアルを左または右に回して、Yes または No を選択してください。
3. 変更内容が確定したら、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押してください。

注意： デフォルトのシリアル設定は、「No」です。

Baud Rate (ボーレート)

VM0808T のボーレートを設定するには下記の手順で操作を行ってください。

1. 「Set Serial Port」のサブメニューから「Baud Rate」を選択して「ENTER」ボタンを押してください。ボーレートのオプションが点滅します。



2. フロントパネルの IN ダイアルまたは OUT ダイアルを回して、オプションを循環させてください。オプションは、9600、19200、38400 および 115200 です。
3. ボーレートが確定したら、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して離してください。

注意： デフォルトのボーレートは、「19200」です。

Exit (終了)

各操作を行った後は、下記のいずれかを行ってください。

- ◆ メニュー画面に戻るには、「ESC」または「MENU」ボタンを押してください。
- ◆ メイン画面に戻るまで、「ESC」または「MENU」ボタンを押してください。

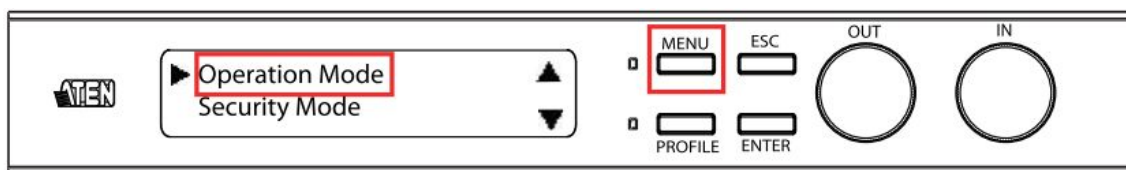
操作モード

「Operation Mode」(操作モード)メニューからは、電源探知機能および EDID 機能を設定することができます。電源探知機能は、ビデオソースの電源が OFF になった場合、自動的に出力ポートを次の電源が入っているソースに切り替えることができます。EDID 機能は、EDID モードから異なるビデオ設定を自動または手動で設定する際に使用され、異なるモニター間で最適な解像度を得ることができます。

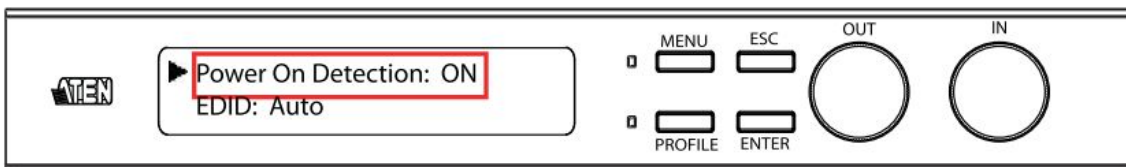
メイン画面から電源探知機能または EDID 機能を設定するには、下記の手順で操作を行ってください。

Power on Detection (電源探知機能)

1. 「MENU」ボタンを使用してメニュー画面にアクセスしてから、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、メニューをスクロールし、「Operation Mode」(操作モード)を選択してから「ENTER」ボタンを押してください。



2. 「Power On Detection」(電源探知機能)に矢印を合わせてから、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して、電源探知機能オプションにアクセスしてください。

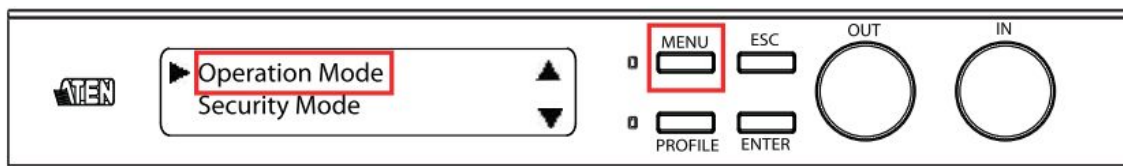


3. フロントパネルの OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、ON または OFF を循環させてください。
4. 変更内容を確定するには、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して離してください。

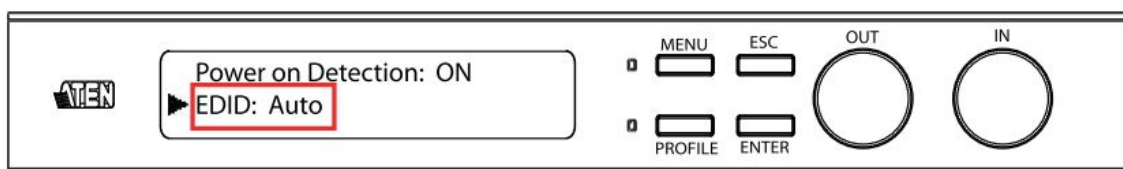
注意: デフォルトの電源探知機能設定は、「OFF」です。

EDID

1. 「MENU」ボタンを使用して、メニュー画面にアクセスしてから、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、メニューをスクロールし、「Operation Mode」(操作モード)を選択してから「ENTER」ボタンを押してください。



2. 「EDID」に矢印を合わせてから、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して、EDID を選択してください。



3. フロントパネルの OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、Auto(自動)/Default(デフォルト)/Port 1(ポート1)/Remix(リミックス)の 4 つのオプションを循環させてください。
4. 変更内容を確定するには、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して離してください。

EDID オプション	説明
Auto	接続された全てのディスプレイの EDID は検知され、使用可能な最良の解像度に設定されます。
Default	デフォルトの EDID が全てのビデオディスプレイに送信されます。
Port 1	ポート 1 からの EDID が全てのビデオディスプレイに送信されます。
Remix	VM0808 の初回起動時に接続された各ディスプレイの EDID を使用します。

注意: デフォルトの EDID 設定は、「Default」です。

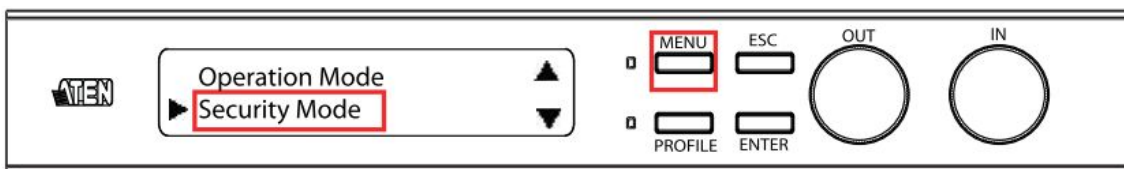
セキュリティモード

「Security Mode」(セキュリティモード)メニューでは、VM0808 のパスワードに関する設定(パスワードが必要/パスワードの変更)ができます。「Password Required」(パスワードが必要)のオプションでは、VM0808 がタイムアウト(デフォルト:5 分間)になった後、または電源を切ってから、再度電源を入れた際に、パスワード入力が必要となるように本製品を設定します。「Change Password」(パスワードの変更)のオプションでは、VM0808 の新しいパスワードを設定することができます。

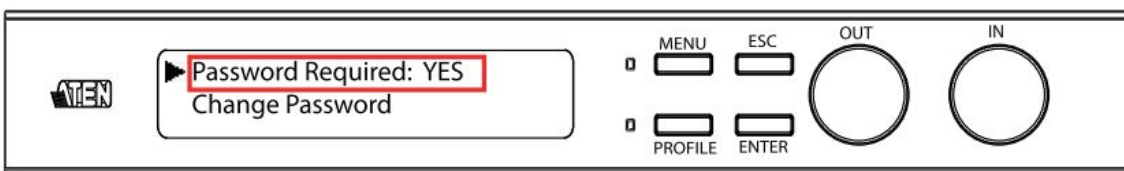
パスワードの設定

VM0808 のパスワードを設定するには、メイン画面から以下の手順で操作を行ってください。

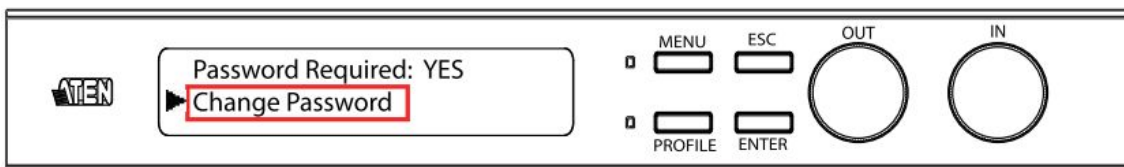
1. 「MENU」ボタンを使用してメニュー画面にアクセスしてから、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを使用して、「Security Mode」メニューまでスクロールし、「ENTER」ボタンを押してください。



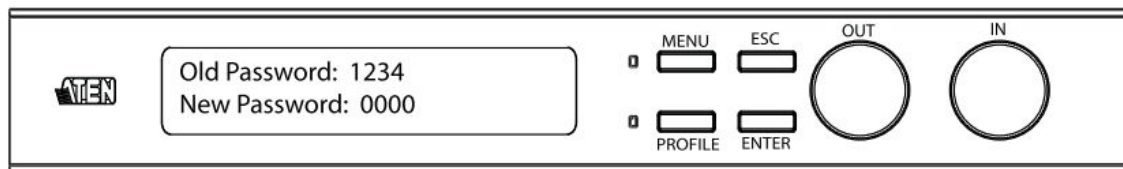
2. VM0808 の操作時にパスワードを要求するように設定するには、「Password Required」を選択し、IN ダイアルまたは OUT ダイアルを回して、「Yes」または「No」を選択してから、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して選択内容を確定してください。



3. パスワードを変更するには、IN ダイアルまたは OUT ダイアルを使用して、「Change Password」の位置に矢印を動かしてから、OUT ダイアル、IN ダイアルまたは「ENTER」ボタンを押して選択してください。



- 元のパスワードを入力してください(p.22 「パスワードの入力」参照)。それから新しいパスワードを作成するには、OUTダイヤル、INダイヤルまたは「ENTER」ボタンを押してから、同様に新しいパスワードを入力してください。



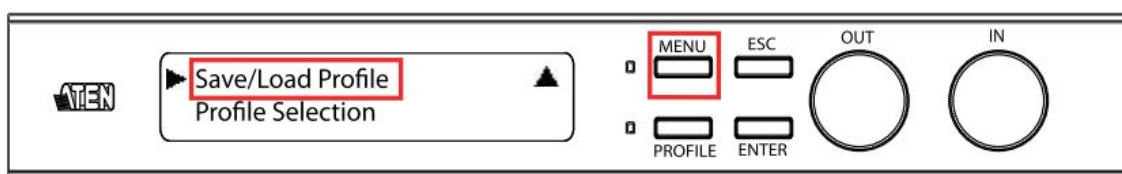
- パスワードが確定したら、OUTダイヤル、INダイヤルまたは「ENTER」ボタンを押して離してからメニュー画面へと続けてください。

注意： 間違ったパスワードを入力した場合は、その間違った数字の上に正しいパスワードを入力しなおしてください。

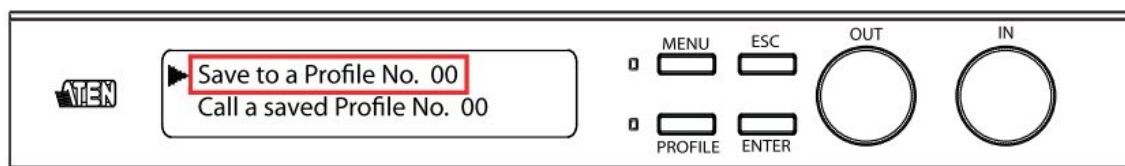
設定値の保存/呼び出し

VM0808 は最大 32 通り(0~31 までの数字)の接続方法を保存でき、後で呼び出すことができます。設定値は、保存時のメイン画面上に現在設定されている接続方法に基づいて保存されます。設定値を呼び出す際、変更はすぐに適用され、設定値番号がメイン画面のディスプレイの右下に表示されます。設定値を保存したり、呼び出したりするにはメイン画面から、下記の手順で操作を行ってください。

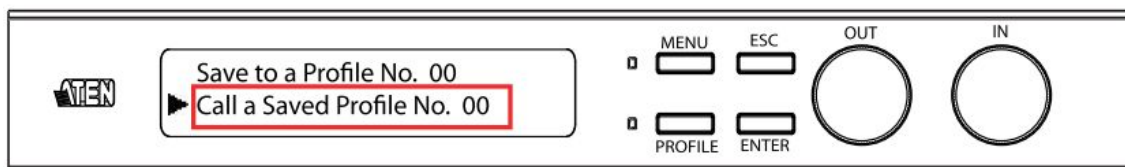
1. 「MENU」ボタンを使用してメニューページにアクセスし、OUT ダイヤルまたは IN ダイヤルを回して、「Save / Load Profile」メニューまでスクロールしてから、[ENTER]ボタンを押して選択してください。



2. 現在の接続設定を保存するには、「Save to a Profile No.」を選択して「ENTER」ボタンを押してから、IN ダイヤルまたは OUT ダイヤルを回して、0~31 の番号を循環させ、それから OUT ダイヤル、IN ダイヤルまたは「ENTER」ボタンを押して、選択した番号に設定を保存してください。



3. 保存した設定値を呼び出すには、「Call a Saved Profile No.」を選択して「ENTER」ボタンを押してから、IN ダイヤルまたは OUT ダイヤルを回し、00~31 の設定値を循環させて呼び出した番号を選択したら、OUT ダイヤル、IN ダイヤルまたは「ENTER」ボタンを押してください。



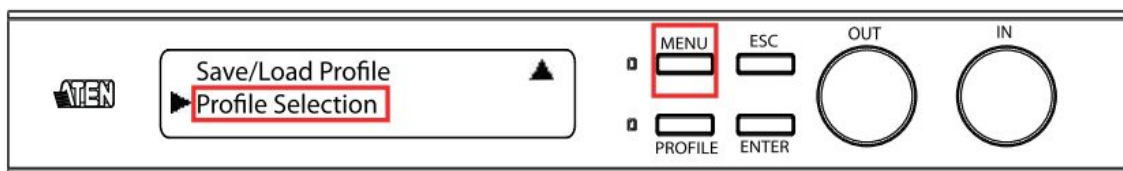
設定値の選択

「Profile selection」(設定値の選択)は、メイン画面から「PROFILE」ボタンを使用して、設定値を循環させて設定を行うことができます。メイン画面から「Profile Selection list」(設定値リスト)に設定値を追加したら、「PROFILE」ボタンを押して、設定値リスト内の設定値を切り替えることができます。

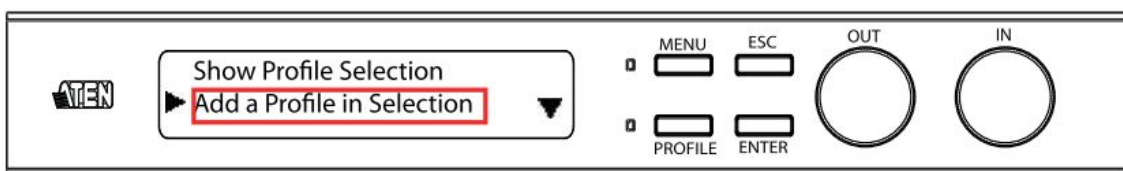
設定値リストに追加、削除、または表示を行うには、メイン画面から下記の手順で操作を行ってください。

設定値リストに設定値を追加

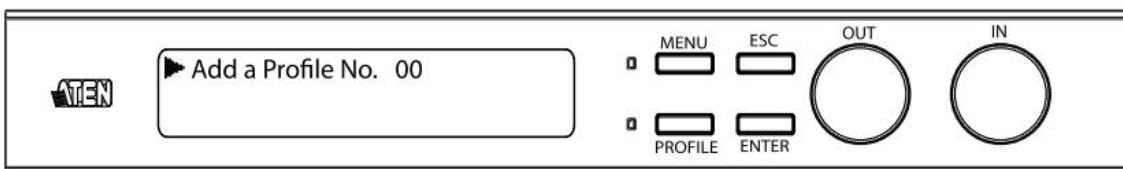
1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスし、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回してスクロールさせてから、「Profile Selection」を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。



2. OUT ダイアルまたは IN ダイアルを使用して、「Add a Profile in Selection」(リストに設定値を追加)を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。



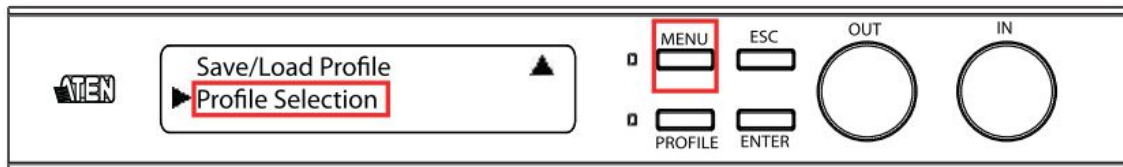
3. OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、設定値番号をスクロールし、「ENTER」ボタンを押して、設定値選択リストに設定値番号を追加してください。
設定値番号のオプションは、00～31 です。



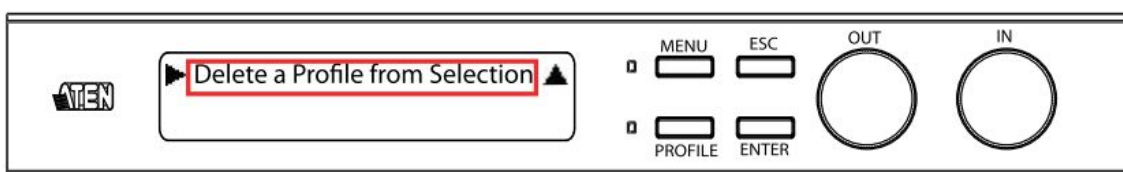
設定値はどんな順序でも追加でき、追加された順番で循環表示されます。

設定値リストから設定値を削除

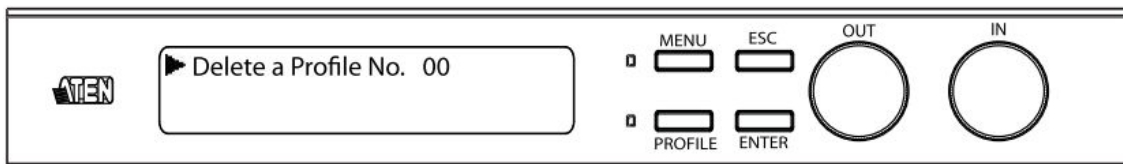
1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスし、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回してスクロールさせてから、「Profile Selection」を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。



2. OUT ダイアルまたは IN ダイアルを使用して、「Delete a Profile from Selection」(リストから設定値を削除)を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。

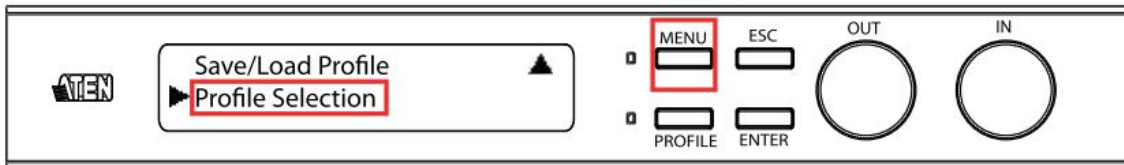


3. OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回して、設定値番号をスクロールし、「ENTER」ボタンを押して、設定値選択リストから設定値番号を削除してください。
設定値番号のオプションは、00～31 です。

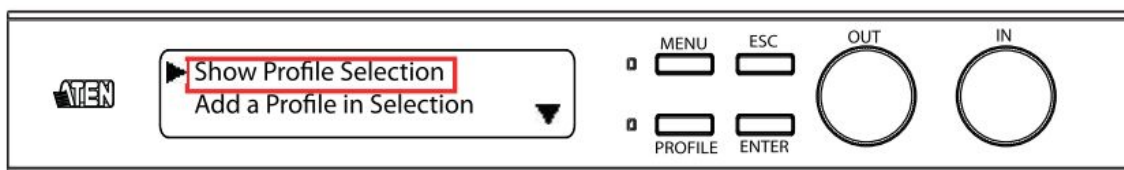


設定値リストの表示

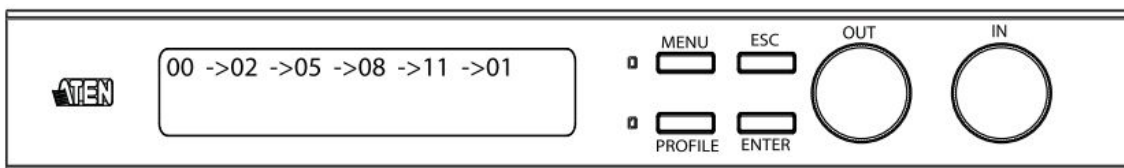
1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスし、OUT ダイアルまたは IN ダイアルを回してスクロールさせてから、「Profile Selection」を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。



2. OUTダイアルまたはINダイアルを使用して、「Show Profile Selection」(設定リストの表示)を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。



3. 設定値リストに追加された設定値が追加された順に表示されます。



リモコン操作

VM0808 に同梱の IR リモコンを使用して、各ディスプレイへの出力ポートを変更することができます。

また、リモコンを使用すると、任意の出力ディスプレイポートに対する入力ソースの切替、出力ディスプレイの個別電源 ON/OFF、または出力ディスプレイ全ての同時電源 ON/OFF といった操作ができます。

リモコン機能を使用する前に、まず IR 外付レシーバーを VM0808 のリアパネルにあるポート (p.15 「IR 外付レシーバーポート」参照) に接続して、IR 信号が届く場所にレシーバーを設置してください。

出力ポートに対する入力ソースの変更

出力ディスプレイに対する入力ソースを変更するには、リモコンを使用して下記の手順で操作を行ってください。

1. 変更したい出力ポート番号 (1~8) を押してください。
2. 2 秒以内*に出力ポートに表示する入力ポート番号 (1~8) を押してください。
3. 他にポートを変更するには、1~2 の手順を繰り返してください。

* 入力ポート番号を変更するには、出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に入力ポート番号を押さなければなりません。

出力ディスプレイの個別電源 ON/OFF

出力ディスプレイを個別に電源 ON/OFF するには、リモコンを使用して下記の手順で操作を行ってください。

1. 電源を ON または OFF したい出力ポート番号(1~8)を押してください。
2. 2 秒以内*に「ON」または「OFF」ボタンを押してください。
3. 電源状態を ON または OFF に戻すには、手順 1~2 を繰り返してください。

* 個別に電源 ON/OFF を行うには、出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に「ON」または「OFF」ボタンを押さなければなりません。入力ポート番号を押さなければなりません。さもなければ、ディスプレイの電源はそれぞれ ON または OFF になったままとなります。

出力ディスプレイ全ての電源 ON/OFF

出力ディスプレイ全ての電源を同時に*ON または OFF にするには、リモコンを使用して、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「ON」または「OFF」ボタンを押してください。
2. 出力ポート全ての電源状態を ON または OFF に同時に戻すには、手順 1 を繰り返してください。

* 「ON」または「OFF」ボタンを使用すると、現在の出力ポート個々の電源状態 (ON/OFF)にかかわらず、全ての出力ポートの電源を同じ状態にします。

第4章

RS-232 コマンド

シリアルコントロールプロトコルコマンド

本章では、ソースデバイスが更にトランスミッターおよびレシーバーとして機能できるようにするために、RS-232 シリアルポートを使用する際のシリアルコントロールプロトコルコマンドの一覧表を掲載しています。

シリアルポートの設定

コントローラーのシリアルポートは下表のように設定してください。

RS-232 シリアルコントロールプロトコル設定	
ボーレート	19200 (デフォルト)
データビット	8 ビット
パリティ	None
ストップビット	1 ビット
フロー制御	None

ポート切替コマンド

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

1. 切替コマンド+入力コマンド+ポート番号+出力コマンド+ポート番号+アドレス+デバイス番号+操作+[Enter]

例えば、入力ポート 02 (のオーディオとビデオ) をデバイス 01 の出力ポート 05 に切り替えるには、下記を入力します。

```
sw i02 o05 A 01 [Enter]
```

2. 切替コマンド+出力コマンド+ポート番号+アドレス+デバイス番号+操作+[Enter]

例えば、ポート 03 のビデオ出力を OFF にするには、下記を入力します。

```
sw o3 A 01 video off [Enter]
```

3. 切替コマンド+出力コマンド+ポート番号+アドレス+デバイス番号+操作+[Enter]

例えば、次の出力をローカルポートに切り替えるには、下記を入力してください。

sw l1 A+[Enter]

コマンドで使用できる値

本製品の切替コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド。

入力コマンド	説明
i	入力コマンド。

入力ポート番号	説明
xx	ポート 01~08 (デフォルトは 01)
l1	ローカル入力ポート

出力コマンド	説明
o	出力コマンド。

出力ポート番号	説明
yy	ポート 01~08 (デフォルトは 01)。
l1	ローカル出力ポート。
*	出力ポート全て。

アドレス	説明
a	デバイスのアドレス。

デバイス番号	説明
zz	00~15 (デフォルトは 00)。
*	デバイス全て。

操作	説明	
on	電源 ON。	
off	電源 OFF。	
+	次のポート。	
-	前のポート。	
video	ビデオのみ切替。	skip=video+audio
audio	オーディオのみ切替。	

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

ポート切替コマンド一覧表

コマンド	入力	N1	出力	N2	C1	C2	Enter	説明
sw	i	xx	o	yy *	video audio		Enter キー	入力ポート xx を出力ポート yy に切替 (xx: 01~08、yy:01~08*)
sw			o	yy *	video audio	on off	Enter キー	出力ポート yy の電源 ON 出力ポート yy の電源 OFF (yy: 01~08*)
sw			o	yy *	video audio	+ -	Enter キー	次の入力ポートを出力ポート yy に切替。 前の入力ポートを出力ポート yy に切替。(yy: 01~08*)

肯定応答

肯定応答	説明
Command OK	コマンドは正確で、機能が実行されます。
Command Incorrect	無効なコマンドまたはパラメーター。

コマンドが送信されると、肯定応答メッセージが返ってきます。

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。
 3. **オーディオ**または**ビデオ**のコマンド文字列は省略することができます。この場合、両方の値が使用されます。

EDID コマンド

EDID コマンドの構文は下記の通りです。

1. EDID コマンド+操作+[Enter]

例えば、ポート 1 の設定で使用する EDID を変更するには、下記を入力してください。

Edit port1 [Enter]

コマンドで使用できる値

本製品の EDID コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
edid	EDID モードを選択します。

操作	説明
Port1	ディスプレイ全ての EDID をポート 1 の通りに実行します。
remix	初回電源投入時の接続に基づいたディスプレイの EDID を使用します。
auto	各接続で検知した EDID を使用して、全てのディスプレイに対し、最適な解像度を設定します。
default	全てのディスプレイに対し、デフォルトの EDID を実行します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

EDID コマンド一覧表

コマンド	操作	Enter	説明
edid	port1	[Enter]キー	ポート 1 からの EDID が全てのビデオソースに送信されます。
edid	remix	[Enter]キー	VM0808 に電源が投入された際の各接続に応じて、接続されたディスプレイの EDID を使用します。
edid	auto	[Enter]キー	接続されたディスプレイの EDID 全てが検知され、全てに対して最適な解像度が接続されたとおりに選択されます。
edid	default	[Enter]キー	デフォルトの EDID が全てのビデオソースに送信されます。

ミュートコマンド

ミュートコマンドの構文は下記の通りです。

1. ミュートコマンド+出力コマンド+ポート番号+アドレス+デバイス番号+操作+[Enter]

例えば、デバイス 01 の出力ポート 5 をミュートするには、下記を入力してください。

```
mute o05 A 01 on [Enter]
```

2. ミュートコマンド+出力コマンド+ポート番号+アドレス+デバイス番号+操作+[Enter]

例えば、デバイス 01 の出力ポート 5 でオーディオを再生するには、下記を入力してください。

```
mute o05 A 01 off [Enter]
```

コマンドで使用できる値

本製品のミュートコマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
mute	選択した出力ポートに対して、ミュートします。

操作	説明
on	ミュート ON: 選択した出力ポートの音声を無効にします。
off	ミュート OFF: 音声出力を有効にします(デフォルト)。

ミュートコマンド一覧表

コマンド	出力	Num2	操作	Enter	説明
mute	o	yy	on	[Enter]キー	出力ポート yy の音声をミュートします。 (yy:01~08、*) (デフォルト: *)
mute	o	yy	off	[Enter]キー	出力ポート yy の音声を有効にします。 (yy:01~08、*) (デフォルト: *)

注意: 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。

設定値の保存/呼び出しコマンド

設定値の保存/呼び出しのコマンドの構文は下記の通りです。

1. コマンド+設定値+番号+アドレス+番号+操作+[Enter]

例えば、現在の接続値を設定値番号 12 に保存するには、下記を入力してください。

```
profile f 12 A 01 save [Enter]
```

2. コマンド+設定値+番号+アドレス+番号+操作+[Enter]

例えば、設定値番号 12 を呼び出すには、下記を入力してください。

```
profile f 12 A 01 load [Enter]
```

コマンドで使用できる値

本製品の設定値の保存/呼び出しコマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
profile	設定値を保存/呼び出します。

設定値	説明
f	設定値。

設定値番号	説明
yy	00～31 (デフォルトは 00)。

操作	説明
save	現在の接続設定値を保存します。
load	設定値を呼び出します。

設定値コマンドの一覧表

コマンド	設定値	Num1	操作	Enter	説明
profile	f	yy	save	[Enter]キー	現在の接続設定値を設定値番号 yy に保存します。(yy: 00~31、) (デフォルト: 00)
profile	f	yy	load	[Enter]キー	保存した設定値番号 yy を呼び出します。(yy: 00~31) (デフォルト: 00)

肯定応答

肯定応答	説明
Command OK	コマンドは正確で、機能が実行されます。
Command Incorrect	無効なコマンドまたはパラメーター。

コマンドが送信されると、肯定応答メッセージが返ってきます。

付録

製品仕様

機能		VM0808
コネクタ	ビデオ入力	D-sub15 ピンオス×8
	ビデオ出力	D-sub15 ピンメス×8
	オーディオ入力	ミニステレオオーディオジャックメス×8
	オーディオ出力	ミニステレオオーディオジャックメス×8
	RS-232	DB-9 ピンメス×1
	IR レシーバー	ミニステレオオーディオジャックメス×1
電源ジャック		3 極 AC 電源ソケット×1
スイッチ	In	チューナーダイヤル×1
	Out	チューナーダイヤル×1
	Esc	プッシュボタン×1
	Menu	プッシュボタン×1
	Profile	プッシュボタン×1
	Enter	プッシュボタン×1
	Power	ロッカースイッチ×1
LED	Menu	グリーン×1
	Profile	グリーン×1
ビデオ	バンド幅	500MHz
	解像度	1,920×1,440@60Hz
消費電力		8W
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース		メタル
重量		2.48kg
サイズ(W×D×H)		437.2×168.5×44 mm

(表は次ページに続きます。)

機能	VM0808
同梱品	電源コード×1 IR リモコン×1 IR レシーバー×1 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1